

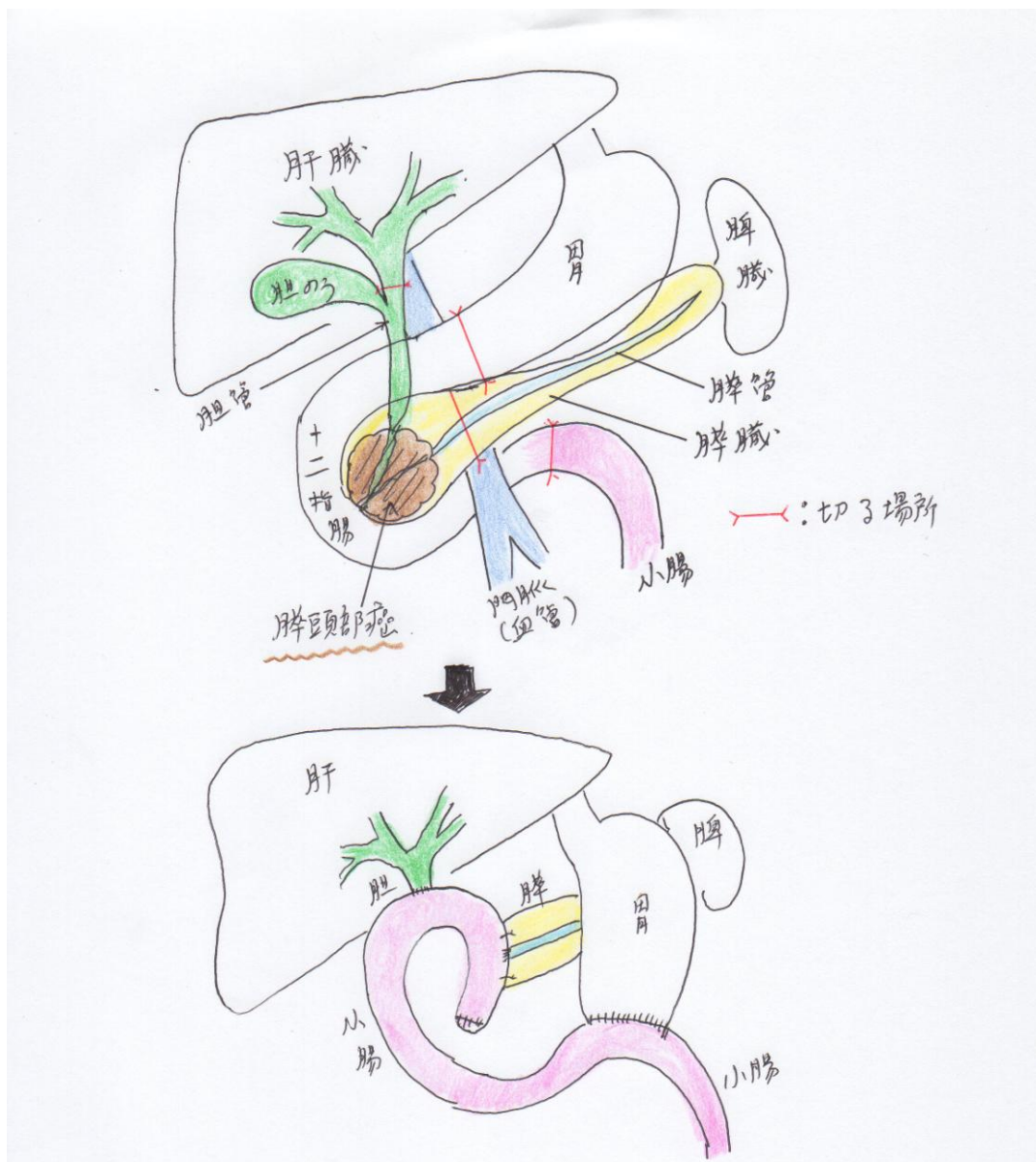
## ■膵臓癌、膵疾患

膵臓癌などの膵臓悪性腫瘍の治癒を目指すためには膵切除が必要です。この領域の手術は専門的技術を要するため一般の病院ではあまり行われませんが、当院では 450 例以上の膵切除手術経験を有する日本肝胆膵外科学会高度技能指導医が主に手術を担当しており、多くの患者さんが当院に紹介されて癌の根治のための手術を受けられています。膵臓癌は非常に難治とされる癌ですが、手術とゲムシタビン、TS-1、タルセバ、アブラキサン、FOLFIRINOX 療法といった抗癌剤を組み合わせた治療を行っています。当院では、癌が巻き込んでいる血管を合併切除して再建する手術法を取り入れて安全に施行しており、他の施設では切除できなかった患者さんの根治切除を行うことができるようになっています。当院における最近 5 年間の膵切除手術件数は 234 件で、その 7 割程度が膵頭部十二指腸切除であり、近畿でも有数の膵臓手術の High volume center です。多くの経験を有する日本肝胆膵外科学会高度技能指導医が主に手術を担当しており、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設の A 施設に指定されています。

膵癌の場合は特に、外科治療と化学療法、緩和治療といったトータルなケアを行うことが個々の患者さんにとって非常に大切です。当院外科

では、外科治療が終了した後でも、一人ひとりの患者さんを継続的に責任をもって診療していくことを基本方針としております。最先端の高度な手術を行うと同時に、手術後のケアや長期にわたる治療、万が一再発をきたした後の治療についても継続的に診療していくことが大学病院や都市部の大病院ではない当院外科の最大の特徴です。

膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除の手術の図解



【当院外科からの最近の学会発表の一部】

日本肝胆膵外科学会 2014 年 6 月（和歌山）「主幹動脈浸潤を伴う膵癌に対する動脈合併切除再建手技とその成績」高 濟峯、辻 泰子、中村広太、松阪正訓、向川智英、石川博文、渡辺明彦

日本消化器外科学会 2014 年 7 月（福島）「膵頭十二指腸切除術における stapling device による膵切離後膵管粘膜吻合の方法と成績」中村広太、高 濟峯、辻 泰子、松阪正訓、向川智英、石川博文、渡辺明彦

日本肝胆膵外科学会 2014 年 6 月（和歌山）「腹腔動脈幹総肝動脈浸潤を伴う局所進行膵体部癌に対する腹腔動脈幹合併膵体尾部切除術の手術成績」 中村広太、高 濟峯、辻 泰子、松阪正訓、向川智英、石川博文、渡辺明彦

日本外科学会 2015 年 4 月（名古屋）「主幹動脈合併切除再建を要する膵癌切除の手術手技と成績」 福岡晃平、高 濟峯、岩佐陽介、紙谷直毅、松阪正訓、向川智英、石川博文、渡辺明彦

日本内視鏡外科学会 2014 年 10 月（岩手）「腹腔鏡下膵体尾部切除症例の治療成績と Reduced port surgery の応用」中村広太，高 濟峯，辻 泰子，紙谷 直毅，松阪正訓，向川智英，石川博文，渡辺明彦

日本肝胆膵外科学会（2015 年 6 月、東京）「主幹動脈浸潤を伴う高度局所進行膵癌に対する動脈合併切除手術成績」高 濟峯、他